

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

目次

ただいま自粛中

いつも「風の子便り」をみて頂きありがとうございます。今月号は、活動自粛の要請が出たために編集部員が足りません。なので、今月号は出せない記事があります。出せなかったコーナーについては来月号に出します。申し訳ありません。

企画一同

☆ただいま自粛中	2
☆メンバーのつぶやき	3
☆バリアフリーよもやま話（岡本連載） 第93回「紅白白杖」	4
☆柳さんの料理コーナー	5
☆懐かしの写真アルバム	5
☆ごめんなさい！（賛助会のお詫び）	6
☆運営委員会報告	7
☆所長のつぶやき	8
☆寄付のお礼	8



これからも頑張ります！！

2020年 4月号

自粛の状況

4月14日（火）～5月6日（水）まで緊急事態宣言を受け、自粛をすることになりました。ただ全員が自粛をするのではなく、自粛が難しいメンバーに関しては通所を続けるということにしました。

- 通所を自粛、条件付きで自粛しているメンバー …… 14名／21名
- 通所しているメンバー …… 7名／21名
- 電車通勤のため自宅待機を命じられている職員 …… 2名／6名

実習所の雰囲気はと言うと……とても静かです。和紙のミキサー音とラジオの音しかないぐらいです。そんな中、通ってくるみんなは元気にやっています。

自粛中のメンバーにはほぼ毎日、全員にSOSを発信していないかと心配で連絡をしているのですが、みんな元気に過ごしているということでほっとしています。Aさんは、今日の体温を教えてくれて、「生きています。」と教えてくれます。またBさんのお母さんは、身体を動かしていないのでそこが不安だと言っていました。

Cさんは、マンガの感想を教えてくださいました。

時間はかかるかもしれませんが、早くコロナウイルスが終息してくれることを祈るばかりです。

所長 岡本裕介



昼食中の風景。静かです……



メンバーのつぶやき

おもしろい文章でみんなを楽しませてくれた恵司さん。しかし、南麻布の入所施設に入ることになりました。これが恵司さんの最後の仕事です。

人差し指のつぶやき（最終回）

文書 - 新規文書20200422132514.rtf

やしろさんは忙しいです
ありすを手紙岡本さん
あります
本人につたえておこか
なんかあるの
おれいを言いたい
せわになりました
さよなら
けいじのつぶやき



文字



文書

その他

スイッチ入力でスキャンを開始します





バリアフリー よもやま話

第93回 「紅白白杖」

風の子会ボランティア・運営委員 岡本 明

白杖（はくじょう）は眼の不自由な方が歩くときに使う白い杖、というのはどなたもご存知ですね。白杖とは言っても、実際には先の方が赤くなっているものも多いのですが、これは路面の白い塗装（横断歩道や路側帯）や雪道でもはっきりわかるようにするためと言われています。道路交通法では「杖は白または黄色」とされていて、黄色も認められているのですが、「黄色の白杖」を使っている人は見たことがありません。

今、「赤と白を交互に塗った白杖」を広めようという動きがあります。眼と耳の両方が不自由な「盲ろう」の人のための杖です。これはヨーロッパで提案されたもので、日本でも広めようと、昨年の全国盲ろう者大会で紹介されました。



「赤白白杖」にする理由は、持っている人が盲ろう者であることを周囲に分かってもらうためです。白だけだと単に目が不自由な人と思われて、声を掛ければコミュニケーションができると思われてしまうのです。

この「赤白白杖」はまだ盲ろうの間では検討中で、賛否両論という状態です。問題点として挙げられているのは次のようなことです。

「赤白白杖」は当面は普通の白杖に赤のテープを巻いて作ることにしていますが、これができないものもあります。畳むときに折り畳み式ならいいのですが、杖の筒の中に先の方の細い部分を押し込んでいくタイプ（車のアンテナのように）の場合には入らなくなってしまいます。「赤白白杖」が正式に認められて、メーカーが初めから色付きのものを作るのを待つしかないでしょう。上記のように、道路交通法で「白または黄色」としているのも、赤白も加えるように、法律を変えなければならないでしょう。

「赤白白杖を持っているのは盲ろうの人」と教えられても、そもそも盲ろうとはどういうことかがまだあまり周知されていない現状では、ちゃんと理解されなかったり、盲ろうだと分かってもどうしたらいいか分からない、という懸念もあります。

盲ろうの人たちが最も心配しているのは、「盲ろうだと分かると、何をされるかわからない」ということです。そっと近づいてきて何かされそうになっても、見えない、聴こえない状態では分からないので、防ぐことができないのです。

昨年、八王子駅で歩きスマホをしていた男が白杖を突いて歩いていた全盲の人とぶつかり、白杖が折れてしまいましたが、男は「見えないくせに出歩くんじゃねえよ!」と罵声を浴びせ、足を蹴って去っていったという事件がありました。心無い人が後を絶たない悲しい現状では、盲ろうの人の心配は杞憂だとは言えません。



「柳さんの料理 コーナー。」



ベジタブルと鮭フレーク混ぜライス。

- ① 電子レンジで、冷凍食品のほうれん草バター炒めを1分温める。
- ② 白いライスの上に温めたほうれん草炒めと、鮭フレークを入れて混ぜる。
- ③ 出来上がり。

メンバー・柳川 敬事



なつかしのアルバム



2011年の風の子の花見は北の丸公園でした。今年
はコロナ騒ぎで全国どこもかしこも自粛ムードで
どこにもでかけられません・・・

担当・メンバー 小野塚



ごめんなさい！

賛助会の更新・新規募集のご案内が遅れます

決算、予算の6月定例総会の準備に加えて、仮施設（芝浦日新ビル）からの再転居先探し、さらにコロナ感染症の感染危機対策に時間と人手が割かれて、いつもご支援ご協力いただいている皆様には、今月号で賛助会更新・募集のご案内ができません。更新や新規募集の手続きは連休明けの5月号でご案内します。

賛助会員の皆様の毎年の貴重なご支援は、実習所の移転先探しさらにコロナ対策に直面して、今年はさらに切実です。どうか遅延をご容赦くださり、5月のご更新募集案内には、是非ともご協力くださりますようお願いいたします。

令和2年4月28日

風の子会事務局長 井出



～ 運営委員会より ～

運営委員会とは、会長に選任された運営委員で構成され、会の運営に関することを話し合っ
て決める機関です。運営委員にはメンバーも職員もボランティアも含まれていて、月
に1度集まって様々なことを話し合っています。

2020年4月8日の運営委員会内容

• 移転問題報告

→立ち退きと移転先についての報告と対応策が提案された。

• 新型コロナウイルス対応

→緊急事態宣言の対応

は「3週間以上の停
止」を「一定期間」に
訂正。今後は本人だけ
でなく家族が風邪の



場合も治ってから2週間の自宅待機を要請する。

• 総会の日程と準備について

→6月13日に開催予定。事務局長から議案の骨子が提案され、
承認された。

• 男子常勤職員募集状況について

→特に進展なしとの報告。

• 防災備蓄品について

→コロナ対策でマスクと消毒液を購入しているが、震災時にも必
要なので、新たに購入を検討していく。

これらについて話し合いました。

文責 運営委員・小野塚



所長のため息

コロナ対策として、2月初めから、風邪の場合も利用者の通所自粛と職員の休職をいたしました。緊急事態宣言以降は、利用者の通所自粛要請と電車通勤職員の休職命令を出しました。現在は、精神的なストレスや介護見守りがいないなどで例外的に通所している数人と、徒歩あるいは自動車通勤している職員で活動しています。感染予防をこれまで以上にしっかりとおこない、やっていこうと思っています。

もう一つ別れの時がやってきてしまいました。風の子会のメンバーである松本恵司さんとお母さんである松本成子さんが4月25日で、風の子会を辞めることになりました。お二人とも僕が入るずっと前から風の子会に参加され、みんなと活動を共にしてきました。松本恵司さんには、自身の身をもって(?)介助の仕方を教わりました。松本成子さんには風の子会の歴史を教わりました。感謝してもきれないです。今までありがとうございました。



寄付・物品寄付のお礼

ご寄付・物品寄付ありがとうございます。（3月14日～4月14日）

末吉 ミヨ子 様

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

太田 圭子	信高 正義
太田 稔	松本 恵司
小野塚 航	三木 直人
島田 龍司	柳川 敬事
田中 聡	幸 高史
塚田 愛基	和栗頭太郎

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型
〒108-0022

東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：kazenoko@kazenokokai.or.jp

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区砧6-26-21